

経営学部で学ぶ外国人留学生のための基本語彙調査
—シラバスを用いた試行調査—

A basic vocabulary investigation for international students in the Faculty of
Business Administration : a pilot study using syllabus

伊藤 春子

Haruko ITOH

I. はじめに

平成 20 年に政府が「留学生 30 万人計画」を発表して以来、外国人留学生（以下「留学生」）数は伸び続けており、独立行政法人日本学生支援機構（JASSO）が発表した「平成 28 年度外国人留学生在籍状況調査結果」によると、平成 28 年 5 月 1 日現在の留学生数は 239,287 人と、前年比 30,908 人（14.8%）増となり、過去最高となっている¹⁾。留学生数の増加に伴い、高等教育機関で学ぶ留学生の出身国も変化を見せており、中国、韓国出身者が占める割合が減少する一方で、ベトナム、ネパール出身者が占める割合が増加している¹⁾。本学経営学部においてもベトナム、ネパール出身者の割合が増加しており、2017 年度は、在籍留学生 131 名のうち漢字圏出身者 58 名（44.3%）、非漢字圏出身者 73 名（55.7%）となり、非漢字圏出身者数が漢字圏出身者数を初めて上回った²⁾。

留学生は、本学経営学部入学と同時に経営学だけでなく語学を含む教養教育科目を受講し、様々な分野の専門語³⁾に接する。本学経営学部では、学位取得に必要な総単位数は 124 単位であり、そのうち教養教育科目は 44 単位（35.5%）となっている。入学後の授業理解には、語彙力が直結していると考えられるが、特に漢字で表記される語彙に関しては、非漢字圏出身者は漢字圏出身者に比べ理解に時間がかかり、学習上の障壁となっているのではないかと考えられる。本学において留学生の母語や日本語学習歴が急速に多様化する中、教養教育科目を含め、経営学部で学ぶために必要な基本語彙を留学生に提示し、学習機会を設けることは、授業理解の一助になるのであろう。そこで、本稿では、留学生に対する基本語彙習得教材作成の基礎資料とするため、教養教育科目を含めた経営学部のシラバスを用いて、基本語彙調査を試みる。

II. 先行研究

高等教育機関で学ぶ留学生に対する語彙教育の重要性から、様々な分野において専門語に関する研究が行われている。小宮（2014）²⁾は、「経済分野を専攻する学部留学生の専

¹⁾ 「平成 28 年度外国人留学生在籍状況調査結果」によると、出身国別留学生数は、中国 75,262 人（44.0%、前年度 49.3%）、ベトナム 28,579 人（16.7%、同 13.2%）、韓国 13,571 人（7.9%、同 8.8%）、ネパール 13,456 人（7.9%、同 5.7%）の順となっている。

²⁾ 本稿では、中国、台湾、韓国出身者を漢字圏出身者、ベトナム、ネパール、モンゴル出身者を非漢字圏出身者と分類した。韓国は非常に限定的ではあるが、漢字の使用がみられることから「漢字圏」とした。また、ベトナムは漢字文化圏であり、「漢越語」と呼ばれる漢字語（音）が使われているが、日常で漢字表記に接する機会が極めて少ないため「非漢字圏」とした。

³⁾ 本稿では、沖森ら（2012 : 147）³⁾の定義に従い、「専門語」を「特定の集団・分野で用いられる専門性の高いことば」とする。

門語不足の問題を改善するため」(小宮：8)、中学、高校の教科書を資料とし、学部入学前に習得することが望ましい基礎的専門語として 318 語を選定している。語種は、漢語が 209 語 (76.9%) と最も多くを占めており、漢語の構成字数は四字漢語が 33.7% と最多で、次いで二字漢語 (21.3%)、五字漢語 (15.2%)、六字漢語 (12.3%) と続き、漢語の多様さが示されている。一方、今村 (2014) ⁴⁾ は、大学の社会科学系基礎文献⁴ から、分野別漢語語彙、社会科学共通漢語語彙、学術共通漢語語彙を特定している。特に、「学術共通二字漢語 100 (暫定版)」には「専門語」は含まれておらず、「物事を観察・記述したり、分析・評価したりする際に不可欠な語彙」であると述べている。これらの語彙は、本学経営学部で学ぶ留学生にとっても習得および理解の優先度が高い語彙と言え、「本学の経営学部で学ぶ」という包括的な視点に立った「語彙シラバス⁵⁾」の整理と教材化は急務であろう。

III. 調査方法

(1) 調査対象資料

本稿では、経営学部で学ぶために必要な基本語彙を調査するため、本学ホームページ上で公開されている経営学部のシラバス⁶⁾の「授業目標・到達目標」欄を調査対象とした。シラバスには、その年に開講される科目の担当教員・単位数・学習目標・評価方法・各回の内容・教科書などが掲載されている⁷⁾。いわば、授業の「計画書」であり、学生が履修科目を選択する際に参考にするものでもある。中でも「授業目標・到達目標」欄⁸⁾は、その授業の全体像がわかりやすくまとめられており、その科目の特性が表れているため、本研究(試行調査)の対象とした。なお、本調査は日本語の語彙を調査対象としているため、公開されている 352 科目のシラバスのうち、「授業目標・到達目標」欄が日本語で記述されている表 1 の 339 科目を調査対象とした⁹⁾。

表 1 調査対象シラバス一覧

科目群	区分	分析対象数
経営学部教養教育科目 (自分づくり)	基礎力・IT 力・語学	65 科目
経営学部教養教育科目 (一般教養)	人々の心と社会・自然と社会・健康と社会	25 科目
経営学部専門教育科目	学部必修・学部推奨・経営実践・ コース必修・コース推奨	228 科目
経営学部教職課程履修科目	教職 (共通科目・公民・保健体育)	21 科目
合計		339 科目

⁴ 今村 (2014) は、商学、経済学、社会学、国際政治学、法学の専門基礎文献 28 冊を調査している。

⁵ 森 (2016 : iv) ⁵⁾ は、「語彙シラバス」を「言語の習得に必要な語を、理念やニーズに基づいて配列し、学習者に提示するためのもの」と定義している。

⁶ <http://www.seijoh-u.ac.jp/business/business-syllabus/> (アクセス日 2017 年 8 月 30 日～9 月 1 日)

⁷ 星城大学経営学部『学生生活のしおり 2017 年度版』p.6 より

⁸ 「授業目標・到達目標」欄は、「星城大学経営学部『シラバス』原稿作成要領」により 200～250 字で具体的な授業目標を記入するよう求められている。

⁹ 英語で「授業目標・到達目標」欄が記載されている英語系科目 13 科目は調査対象外とした。また、シラバスは、同一科目を担当する複数の担当者が連名で 1 点提出している場合と、「ゼミナール」など複数の担当者がそれぞれ提出している場合とがあり、開講されている科目数に一致するものではない。

(2) データの分析方法

本調査では、調査対象資料から頻出語および複合語を抽出するため、KH Coder¹⁰を用いた。KH Coder は、計量テキスト分析¹¹のために開発されたものであるが、形態素解析によって抽出されたことばを様々な形で分析でき、言語研究分野でも活用されている。本調査では、樋口（2014：106）⁶⁾、石黒（2016：168-169）⁷⁾を参考にし、調査対象資料を次のようにデータ化し、分析を行った。

1. シラバスの「授業目標・到達目標」欄を MS WORD に入力し、機種依存文字および表記ゆれを次のように修正。
 - ・ローマ数字、丸付き数字：アラビア数字に置き換え
 - ・文中の「・」、「／」、「：」を読点に、文末の「？」を句点に置き換え
 - ・文頭の「・」、「★」、「※」などの記号を消去
 - ・半角カタカナを全角カタカナに統一：例 「マーケティング」 → 「マーケティング」
 - ・全角英字固有名詞を半角に統一：例 「WEB」 → 「WEB」
 - ・科目名を表す数字を消去：例 「自分づくりゼミⅡ」 → 「自分づくりゼミ」
2. 分析対象データを MS Excel に入力し、データ化。
3. KH Coder で「前処理」を実行し、解析。抽出語リストを確認し、語彙が分割されたと思われるものは、「語の抽出結果を確認」し、元の語彙を「語の取捨選択」欄で強制抽出する語に指定した上で、再度「前処理」を実行し、頻出語を抽出。
 - ・例：「コトラ」、「ー」は「コトラー」として強制抽出する語に指定
4. KH Coder の「茶釜」を用いて「複合語」を抽出。

IV. 調査結果と考察

(1) 経営学部シラバスにおける頻出語の難易度

KH Coder による解析の結果、調査対象資料の総抽出語数（延べ数）は 43,013 語（異なり語数 2,944 語）であり、そこから分析対象として抽出された語数は 19,627 語（異なり語数 2,538 語）であった¹²。本調査では、「頻出語リスト」の上位 526 語（出現回数 7 回以上）について、分析を行った（頻出 526 語の詳細については、【資料】を参照のこと）。

まず、この頻出 526 語について、語彙の難易度を「リーディングチュウ太(Reading Tutor)」の「語彙チェッカー」¹³を用いて測定した。語彙チェッカーは、日本語能力試験 (JLPT) の出題基準に基づいて、単語の難易度を判定するものであり、N1 から N5、「級外」、「その他」に分類される。なお、語彙チェッカーは旧日本語能力試験出題基準に基づいているため、N2 と N3 レベルは 1 つのカテゴリーとして判定される。その判定結果を表 2 に、「級外」および「その他」に分類された語を表 3 に示す。「その他」と分類された 3 語は、アルファベットで表記された IT 用語であり、「級外」の語彙 87 語彙と併せ、90 語 (17.1%)

¹⁰ 本調査では、KH Coder Version 2.00f を用いた。

¹¹ 樋口（2014）は「計量テキスト分析」を「計量的分析手法を用いてテキスト型データを整理または分析し、内容分析 (content analysis) を行う方法である」(p.15) と定義している。

¹² KH Coder では、「特に設定を変更しない限り、助詞や助動詞のように、どのような文章の中にもあられる一般的な語は分析から除外され」、分析対象となる語が抽出される。(樋口 2014：125)

¹³ 「リーディングチュウ太」の「語彙チェッカー」<http://language.tiu.ac.jp/index.html>
(アクセス日 2017 年 9 月 24 日)

が出題基準外の語彙であるということができる。

これらから、調査対象資料であるシラバスの「授業目標・到達目標」欄の頻出 526 語は、日本語能力試験の出題基準語彙で 82.9%がカバーされていることがわかる。中でも、N2 相当レベルの語彙が 43.0%と最も多く占めており、N2 レベルの留学生は同欄の頻出 526 語の 65.8%が理解できるということになる。一方で、N1 レベルおよび級外、その他の語彙が 34.2%を占めていることから、経営学部で学ぶためには幅広い語彙力が必要であるということも言える。

表 2 頻出語上位 526 語の日本語能力試験出題基準によるレベル別語彙数

レベル	級外	N1	N2・N3	N4	N5	その他	合計
語彙数 (%)	87 (16.5)	90 (17.1)	226 (43.0)	62 (11.8)	58 (11.0)	3 (0.6)	526 (100)

表 3 「級外」および「その他」に分類された語彙一覧（頻出順）¹⁴

級外	ゼミナール 習得 受講 修得 構築 プロジェクト 学修 戦略 マーケティング フィールドワーク 営利 考え方 主体性 スキル フィールド 事例 プレゼンテーション 読解 マネジメント 捉える イベント ネットワーク 参画 前期 技法 卒論 インターネット 考察 実地 多く グローバル 関わる 後期 飛躍 毎回 あり方 リスク 中国 東海 特性 履修 財務諸表 人々 読み取る マルチメディア 近年 抽出 院内 仮説 韓国 座 支援 資質 取得 種目 習熟 幅広い サポート ヒトモノ 起業 実務 取り組み 立案 ディスカッション 我が国 挙げる 出店 情報処理 知見 聴解 認定 発信 販路 必須 要約 倫理 ファイナンス ベンチャー 既存 公民 財務 疾患 疾病 醸成 題材 知多
その他	IT ICT Java

(2) 経営学部シラバスにおける頻出語の語種

頻出 526 語の語種を日本語能力試験出題基準によるレベル別に分類したものが表 4 である¹⁵。なお、抽出語がどのようにシラバスで用いられているかを確認するため、KH Coder の KWIC コンコーダンスに抽出語を入力し、使用状況を確認後、語種の判定を行った。

表 4 頻出語上位 526 語の語種内訳 ※ () 内はレベル別語彙数に対する%を指す

	漢語	和語	外来語	混種語	合計
級外	56 (64.4)	13 (14.9)	18 (20.7)	0 (0)	87 (100)
N1	74 (82.2)	11 (12.2)	5 (5.6)	0 (0)	90 (100)
N2N3	167 (73.9)	43 (19.0)	11 (4.9)	5 (2.2)	226 (100)
N4	44 (71.0)	14 (22.6)	3 (4.8)	1 (1.6)	62 (100)
N5	16 (27.6)	38 (65.5)	3 (5.2)	1 (1.7)	58 (100)
その他	0	0	3 (100)	0	3 (100)
全体	357 (67.9)	119 (22.6)	43 (8.2)	7 (1.3)	526 (100)

¹⁴ それぞれの語彙の頻出回数は、巻末の【資料】を参照のこと。

¹⁵ 語種の判定は、山田他編 (2010)『新潮現代国語辞典第二版』新潮社に従った。なお、「ヒト」「モノ」は、和語の「人」「物」をカタカナ表記した経営学の専門語であると捉え、「和語」と判定した。

表4から、頻出 526 語のうち、漢語が 357 語 (67.9%) を占めており、特に、N5 から N1 へとレベルが上がるにつれ、漢語の占める割合が増加していることがわかる。和語は、N5 レベルの語彙が 6 割と最も多くを占め、基本的な和語の汎用性の高さが表れていると言える。また、級外の語彙は、外来語が他のレベルに比べ 2 割という高い割合を占めており、大学教育において日本語能力試験の出題基準外の外来語が多く用いられていることがわかる。さらに、表3に示したように、級外の語彙にみられる漢語、外来語には、専門語だけでなく、学術共通語彙だと思われるものや、国名や本学の所在地に関連する地名も含まれており、本学で学ぶ留学生には理解が望ましい語であると言える。

次に、漢語 357 語の構成字数を見ると、一字漢語 6 語 (1.7%)、二字漢語 344 語 (96.4%)、三字漢語 5 語 (1.4%)、四字漢語 2 語 (0.6%) であった。本調査において二字漢語が圧倒的に多くなった背景は、形態素解析によって複合語が分割されたことによるものであろう¹⁶。よって、次節で複合語の特徴を考察することとし、ここでは二字漢語を考察する。表5は、今村 (2014: 35) が提示した「学術共通二字漢語 100 (暫定版)」の 100 語のうち、本調査でも抽出された二字漢語 61 語のリストである。これらの語彙は、本学においても基本語彙として学ばれるべき語彙であることは明らかであろう。

表5 二字漢語のうち「学術共通二字漢語 100 (暫定版)」に含まれている語 (頻出順)

理解	課題	解決	知識	研究	基本	必要	情報	技術	作成	重要
方法	具体	表現	分野	説明	目的	構築	開発	存在	分析	実現
構造	対応	関係	対象	人間	可能	評価	現在	意味	利用	一般
全体	変化	認識	期待	機能	特徴	確認	概念	結果	効果	時間
設定	同様	主体	影響	過程	決定	検討	現象	選択	要素	領域
傾向	段階	有効	導入	判断	複数					

(3) 経営学部シラバスにおける複合語の特徴

本調査資料から、KH Coder の「茶釜」を用いて「複合語」を抽出し、上位 97 語 (頻出数 7 回まで) を一覧にしたものが表6である。語種の内訳は、漢語 81 語 (83.5%)、和語 2 語 (2.1%)、外来語 1 語 (1.0%)、混種語 13 語 (13.4%) であった。また、漢語 81 語の構成字数は、二字漢語 1 語 (1.2%)、三字漢語 39 語 (48.1%)、四字漢語 33 語 (40.7%)、五字漢語 3 語 (3.7%)、六字漢語 5 語 (6.2%) であり、三字漢語と四字漢語で 9 割弱を占めた。複合語の構成要素は、「～的」が 15 語で最も多く、次いで「～者」(7 語)、「～能力」(6 語)、「～力」(4 語)、「～活動」(3 語) であった。さらに、混種語 13 語のうち、10 語は漢語と外来語から構成されていた。これらから、複合語の理解には、それらを構成する基本語彙、特に漢語の習得が重要であるといえる。

V. まとめと今後の課題

本稿では、留学生に対する基本語彙習得教材作成の基礎資料とするため、教養教育科目を含めた経営学部のシラバスの「授業目標・到達目標」欄を調査対象とし、頻出語彙 526 語と複合語 97 語の特徴を分析した。調査結果から、これらの語彙は経営学部で学ぶため

¹⁶ 例えば、「利活用」は「利」と「活用」に分割されている。

の「基本語彙」の目安となることがわかった。しかし、シラバスの一部を用いた試行調査のため、必ずしも基本語彙となる語彙が抽出できたとは言えない。今後は、シラバスの「講義計画・内容」欄や実際の教材を調査対象とし、より厳密な基本語彙リストを作成し、留学生が入学前からそれらの語彙を学ぶことができる教材開発につなげたい。

表6 経営学部シラバスにおける複合語（上位97語）一覧

複合語	出現数	複合語	出現数	複合語	出現数
1 本講義	63	33 自分づくりゼミ	12	65 基礎理論	8
2 到達目標	56	34 非営利	12	66 指導者	8
3 解決策	48	35 継続的事業者	12	67 企業経営	8
4 行動力	47	36 組織全体	12	68 問題解決策	8
5 課題解決能力	44	37 実践活動	12	69 商品開発	8
6 卒業論文	35	38 実地調査	12	70 経営改善	8
7 論理的	33	39 就職活動	11	71 販路拡大	8
8 基本的	33	40 本科目	11	72 イベント出店	8
9 本授業	32	41 先行研究	11	73 相当レベル	7
10 具体的	31	42 教育実習	11	74 論文作成	7
11 受講生	29	43 実践手法	11	75 日本企業	7
12 コミュニケーション能力	29	44 継続的	11	76 歴史的	7
13 実践的	26	45 読解力	10	77 グローバル化	7
14 実践能力	25	46 積極的	10	78 諸問題	7
15 総合的	24	47 国際的	10	79 スポーツ指導者	7
16 キャンパス外	24	48 基礎力	10	80 体系的	7
17 創造性	24	49 英語素材	10	81 効果的	7
18 課題発見能力	24	50 重要性	10	82 学校体育	7
19 まちづくり	23	51 ビジネスモデル	10	83 言語知識	6
20 異文化	18	52 専門分野	9	84 4技能	6
21 本ゼミ	18	53 受講者	9	85 英語文法項目	6
22 経営学	15	54 基礎知識	9	86 英語基礎力	6
23 現代社会	15	55 卒業研究	9	87 文化的	6
24 授業目標	14	56 指導法	9	88 生涯スポーツ	6
25 総合ことば演習	14	57 座学	9	89 経営戦略	6
26 日本語能力	14	58 医療機関	9	90 問題点	6
27 運用能力	13	59 一般クラス	8	91 経済学	6
28 日本社会	13	60 専門書	8	92 社会調査	6
29 社会貢献活動	13	61 中心目標	8	93 応用力	6
30 飛躍的	13	62 自分づくり	8	94 経営者	6
31 基礎的	12	63 私たち	8	95 消費者	6
32 自分自身	12	64 利活用	8	96 理解度	6
				97 中小企業	6

謝辞

本研究は、星城大学経営学部より特別研究奨励費の助成を受けた研究成果の一部である。ここに記して、感謝の意を表する。

参考文献

- 1) 独立行政法人日本学生支援機構：平成28年度外国人留学生在籍状況調査結果。
http://www.jasso.go.jp/about/statistics/intl_student_e/2016/index.html（参照2017年4月9日）
- 2) 小宮千鶴子：留学生のための経済の基礎的専門語。早稲田日本語研究 23:1-12, 2014.
- 3) 沖森卓也 編著，木村一，鈴木功真，吉田光浩 著：語と語彙。朝倉出版，2012.
- 4) 今村和宏：社会科学系基礎文献における分野別語彙、共通語彙、学術共通語彙の特定一定量の基準と教育現場の視点の統合。専門日本語教育研究 16:29-36, 2014.
- 5) 森敦嗣 編，山内博之 監修：ニーズを踏まえた語彙シラバス。くろしお出版，2016.
- 6) 樋口耕一：社会調査のための計量テキスト分析—内容分析の継承と発展を目指して—。ナカニシヤ出版，2014.
- 7) 石黒圭：日本語教育専攻大学院留学生のための語彙シラバス。森敦嗣 編，山内博之 監修，ニーズを踏まえた語彙シラバス，くろしお出版，2016，159-178.

【資料】 頻出語上位 526 語一覧

抽出語	出現数	抽出語	出現数	抽出語	出現数	抽出語	出現数	抽出語	出現数
1 する	1479	106 表現	34	211 トレーニング	18	316 将来	12	421 伴う	9
2 できる	291	107 分野	34	212 プログラム	18	317 消費	12	422 本質	9
3 能力	243	108 論理	34	213 企画	18	318 人々	12	423 要因	9
4 目標	232	109 現状	33	214 捉える	18	319 成熟	12	424 要素	9
5 理解	211	110 まち	32	215 置く	18	320 生産	12	425 養う	9
6 社会	209	111 安全	32	216 イベント	17	321 先行	12	426 立案	9
7 授業	186	112 就職	32	217 ネットワーク	17	322 体系	12	427 領域	9
8 実践	185	113 説明	32	218 育成	17	323 対話	12	428 Java	8
9 課題	169	114 目的	32	219 改善	17	324 読み取る	12	429 アップ	8
10 経営	146	115 ゼミ	31	220 皆さん	17	325 年	12	430 ディスカッション	8
11 活動	145	116 構築	31	221 教職	17	326 復習	12	431 パソコン	8
12 講義	144	117 貢献	31	222 参画	17	327 予定	12	432 果たす	8
13 なる	137	118 役割	31	223 視点	17	328 要旨	12	433 課程	8
14 解決	130	119 開発	30	224 自己	17	329 めざす	11	434 我が国	8
15 学ぶ	129	120 言語	30	225 生涯	17	330 マルチメディア	11	435 改革	8
16 医療	128	121 産業	30	226 前期	17	331 概念	11	436 各々	8
17 知識	128	122 存在	30	227 素材	17	332 近年	11	437 学部	8
18 企業	127	123 読む	30	228 知る	17	333 金融	11	438 学問	8
19 様々な	118	124 分析	30	229 的確	17	334 結果	11	439 活躍	8
20 ない	115	125 立つ	30	230 変化	17	335 効果	11	440 漢字	8
21 身	107	126 プロジェクト	29	231 豊か	17	336 広告	11	441 簡単	8
22 文化	107	127 学校	29	232 ない	16	337 市場	11	442 基	8
23 行う	106	128 学修	29	233 テスト	16	338 事項	11	443 挙げる	8
24 教育	105	129 議論	29	234 異なる	16	339 時間	11	444 強化	8
25 考える	105	130 試験	29	235 拡大	16	340 取り巻く	11	445 傾向	8
26 基礎	103	131 実現	29	236 楽しい	16	341 取り上げる	11	446 今後	8
27 研究	97	132 戦略	29	237 観点	16	342 準備	11	447 作る	8
28 スポーツ	94	133 技能	28	238 技法	16	343 女性	11	448 受験	8
29 問題	92	134 考え	28	239 項目	16	344 焦点	11	449 出店	8
30 論文	92	135 力	28	240 高い	16	345 深い	11	450 上級	8
31 つける	85	136 マーケティング	27	241 資源	16	346 政策	11	451 情報処理	8
32 指導	83	137 運用	27	242 進める	16	347 正しい	11	452 成立	8
33 深める	80	138 応用	27	243 卒論	16	348 設定	11	453 政治	8
34 科目	77	139 体育	27	244 適切	16	349 増進	11	454 生かす	8
35 目指す	77	140 め	26	245 インターネット	15	350 抽出	11	455 生じる	8
36 学習	75	141 フィールドワーク	26	246 モデル	15	351 同様	11	456 全般	8
37 地域	73	142 継続	26	247 会計	15	352 背景	11	457 団体	8
38 基本	71	143 構造	26	248 考察	15	353 発展	11	458 段階	8
39 管理	70	144 今日	26	249 施設	15	354 文	11	459 知見	8
40 ある	69	145 対応	26	250 実地	15	355 法律	11	460 地区	8
41 英語	65	146 通じる	26	251 取り組む	15	356 留学生	11	461 聴解	8
42 高める	65	147 文法	26	252 商品	15	357 いう	10	462 直面	8
43 必要	65	148 IT	25	253 紹介	15	358 おく	10	463 日常	8
44 自ら	63	149 意義	25	254 身体	15	359 わかる	10	464 認定	8
45 発見	63	150 関係	25	255 生徒	15	360 コンピュータ	10	465 年間	8
46 ゼミナール	62	151 実習	25	256 全て	15	361 サービス	10	466 博物館	8
47 自分	62	152 手法	25	257 多く	15	362 意識	10	467 発信	8
48 日本	62	153 場	25	258 体制	15	363 院内	10	468 販路	8
49 行動	60	154 世界	25	259 知的	15	364 仮説	10	469 必須	8
50 経済	59	155 対象	25	260 通す	15	365 韓国	10	470 不可欠	8
51 向上	59	156 発表	25	261 電子	15	366 経歴	10	471 複雑	8
52 情報	59	157 キャンパス	24	262 認識	15	367 言う	10	472 有効	8
53 到達	59	158 扱う	24	263 保健	15	368 後半	10	473 要約	8
54 現場	57	159 営利	24	264 方々	15	369 交流	10	474 利	8
55 卒業	57	160 患者	24	265 立場	15	370 構想	10	475 流通	8
56 専門	56	161 考え方	24	266 練習	15	371 座	10	476 倫理	8
57 テーマ	55	162 主体性	24	267 クラス	14	372 作業	10	477 労働	8
58 ビジネス	55	163 状況	24	268 グローバル	14	373 支援	10	478 いかに	7
59 組織	54	164 人間	24	269 関わる	14	374 視野	10	479 なるべく	7
60 調査	53	165 踏まえる	24	270 基づく	14	375 資質	10	480 みる	7
61 技術	52	166 話す	24	271 後期	14	376 主体	10	481 やすい	7
62 習得	51	167 運営	23	272 向ける	14	377 取得	10	482 ファイナンス	7
63 作成	50	168 可能	23	273 国	14	378 種目	10	483 ペンチャー	7
64 さらに	49	169 計画	23	274 仕組み	14	379 習熟	10	484 メディア	7
65 受講	49	170 見る	23	275 質	14	380 商業	10	485 安心	7
66 用いる	48	171 大きい	23	276 飛躍	14	381 新た	10	486 意見	7
67 まとめる	47	172 特に	23	277 毎回	14	382 身近	10	487 映像	7
68 よる	47	173 評価	23	278 養成	14	383 人生	10	488 化学	7
69 コミュニケーション	47	174 スキル	22	279 あり方	13	384 整理	10	489 慣れる	7
70 演習	47	175 テキスト	22	280 コース	13	385 土台	10	490 観察	7
71 学生	47	176 フィールド	22	281 リスク	13	386 当てる	10	491 既存	7
72 総合	47	177 現在	22	282 各種	13	387 幅広い	10	492 原理	7
73 ことば	46	178 事例	22	283 危機	13	388 がたい	9	493 公民	7
74 システム	46	179 得る	22	284 期待	13	389 それぞれ	9	494 広い	7
75 求める	46	180 ICT	21	285 機関	13	390 キャリア	9	495 講師	7
76 国際	46	181 意味	21	286 機能	13	391 サポート	9	496 国家	7
77 日本語	46	182 教員	21	287 参加	13	392 ヒト	9	497 国民	7
78 運動	45	183 提供	21	288 自身	13	393 モノ	9	498 最も	7
79 修得	45	184 展開	21	289 自分づくりゼミ	13	394 影響	9	499 祭り	7
80 環境	44	185 聞く	21	290 心理	13	395 過程	9	500 財務	7
81 生活	44	186 利用	21	291 制度	13	396 各自	9	501 事情	7
82 獲得	43	187 プレゼンテーション	20	292 成果	13	397 確立	9	502 疾患	7
83 重要	42	188 完成	20	293 積極	13	398 関心	9	503 疾病	7
84 内容	42	189 観光	20	294 中国	13	399 含める	9	504 実態	7
85 大学	41	190 関連	20	295 調べる	13	400 機会	9	505 受ける	7
86 方法	41	191 因る	20	296 東海	13	401 起業	9	506 醸成	7
87 理論	41	192 対策	20	297 特性	13	402 教科	9	507 心	7
88 人	40	193 読解	20	298 特徴	13	403 形成	9	508 人材	7
89 創造	40	194 把握	20	299 履修	13	404 芸術	9	509 人類	7
90 提案	40	195 問う	20	300 応じる	12	405 決定	9	510 生きる	7
91 事業	38	196 つく	19	301 価値	12	406 検討	9	511 相当	7
92 文章	38	197 より	19	302 解説	12	407 現象	9	512 側面	7
93 歴史	38	198 マネジメント	19	303 確認	12	408 個別	9	513 題材	7
94 レベル	37	199 一般	19	304 競争	12	409 語学	9	514 単に	7
95 現代	37	200 現地	19	305 教養	12	410 合わせる	9	515 知多	7
96 中心	37	201 持つ	19	306 興味	12	411 実務	9	516 都市	7
97 具体	36	202 書く	19	307 業務	12	412 取り組み	9	517 導入	7
98 個人	36	203 触れる	19	308 形式	12	413 新しい	9	518 特別	7
99 実施	36	204 全体	19	309 構成	12	414 選ぶ	9	519 発生	7
100 海外	35	205 体験	19	310 財務諸表	12	415 選択	9	520 判断	7
101 活用	35	206 動向	19	311 使う	12	416 多様	9	521 非常	7
102 語彙	35	207 病院	19	312 思考	12	417 体力	9	522 必修	7
103 主	35	208 目	19	313 時代	12	418 通信	9	523 福祉	7
104 健康	34	209 留学	19	314 次	12	419 働く	9	524 複数	7
105 実際	34	210 ゲーム	18	315 取り入れる	12	420 同時に	9	525 文献	7
								526 抱える	7